

平成25年度

# 議会広報特別委員会行政視察報告

(平成26年2月5日)

視察先

宮崎県えびの市

視察内容

議会だよりの編集について

視察者

黒木	万治	日高	和広
富井	寿一	松葉	通明
柏田	公和	木田	吉信
岩切	裕		



# えびの市

面積 283.00平方キロメートル

人口 10,240人(平成25年4月)

平成25年度当初予算

一般会計 101億8,700万円

議員数 15人



## これまでの経緯

### 編集委員会

歳費を2,000円ずつ集めて、日当、原稿料等に充てていた。  
視察に行く際には、全員協議会にかけていた。



高千穂町などへ視察

内容をレベルアップするのであれば、位置づけを法に沿ったものに！

### 議会広報常任委員会

H24年4月設置

所管事項は、えびの市議会だよりの発行に関する事項及び市ホームページの議会広報に関する事項

7名で構成（副議長、総務教育常任委員会・産業厚生常任委員会の正副委員長及び委員各1名）

A4版 7,800部作成、議会の翌月20日発行、10日頃には編集済み  
編集ソフトは使っていない。レイアウト用紙と原稿のデータ（紙原稿もあり）を印刷会社に渡し、ゲラを作ってもらう

編集の9割を議員が行い、事務局は事務手続きと最終校正に加わるのみ

## 発行までの流れ(委員会開催日)

	編集業務内容	入稿・校正	備考
1回目 (最終日 翌日)	1. ページ割検討・決定 2. 担当割検討・決定 3. 一般質問校正 4. 写真等の担当決定	印刷業者と 日程調整	1と2は委員長作成 案で検討
2回目	1. レイアウト決定 2. 総括や委員長報告など上記 以外のすべての原稿校正 3. 写真キャプション(説明文)の 検討・決定	すべての原 稿の入稿	1は委員長作成案 で検討
3回目	すべての業者入稿のゲラ刷り の校正	左のゲラ校 正済の入稿	
4回目	委員長と副委員長と事務局で 最終校正	再校で校了	

委員会終了後に印刷会社に来てもらい、委員長が説明のうえ入稿する  
1～3回目までは全委員参加  
印刷会社へは、できあがった原稿から順次入稿する

## H25年10月定例会号発行の時は・・・

### 1回目 議会最終日翌日 10/30 13:00～17:15

1. 内容・ページ割(案)について
2. 1の原稿分担について
3. 一般質問の原稿校正(9人分)
4. その他 次回の作業日程

すべての  
原稿を  
入稿

委員会終了後、  
印刷業者と日  
程調整

### 2回目 11/5 10:00～15:15

1. レイアウト決定
2. 総括や委員長報告など、上記以外の  
すべての原稿校正
3. 写真キャプション(説明文)の検討・決定

校正した  
ものを  
入稿

10/18 13:00～14:30  
改選後初めての編集だったので、えびの市議会だより発行規定(案)、えびの市議会だより編集要綱(案)、今後の編集についての説明など

### 3回目 11/12 14:50～17:00

印刷会社からあがってきたゲラ(原稿)の校正

再校で  
校了

### 3回目 11/12 14:50～17:00

委員長、副委員長、事務局で最終校正



議会広報常任委員会室

# 編集割付・分担表

# 編集日程表

# 写真・カット・図表担当表

議会だより編集割付・分担表（11月発行98号）

ページ	編集材料 (掲載内容)	編集担当 (含執筆)	同左の 提出期限	編集委員会 校正・チェ ック	入 稿 チェ ック
表紙	○表紙写真・・・ 写真説明 ○主な内容	山元	11/5	同左	
2	○今議会審査結果の総括 ※10月臨時会も含む	池田	11/5	同左	
3	○定例会における議案等の審議結 果表（素原稿＝事務局） ※10月臨時会も含む	池田	11/5	同左	
4	○一般質問 9人 1人分2段でレイアウト ○リード7～8行 ○説明資料・写真・カット 各1 ○写真キャプション	竹中 西原	個人原稿 期限： 10/29 校正 10/30  写真提出： 11/5	写真キャ プショ ン：11/5	
5					
6					
7					
8	○8ページ下2段分 「議会傍聴しませんか」 ～手続きは簡単です～	山元	11/5		
9	議案等の審査：常任委員会報告 文字数： 2～3段以内 写 真： 2点づつ	池田 西原	11/5		
10	○総務教育常任委員会報告（1点） ○産業厚生常任委員会報告（1点）				
11	○トピックス 新議会構成決まる （議長、副議長、各常任委員長、同 副委員長、各種委員などを紹介）	遠目塚	11/5		
12	○意見書（ 件）	田口	11/5		
13					
14	○表決が割れた議案等の議員の表 決 2段	竹中	11/5		
	○議会日誌（原稿＝事務局）	田口	11/5		
	○編集後記 10行～14行	遠目塚	11/5		

※上記全体紙面構成案及びレイアウト案作成担当：池田委員長

編 集 日 程 表

編集委員会開催日	最終日翌日	編集業務内容	入稿・校正	備 考
1回目	10/30 13:30～	1. ページ割検討・決定 2. 担当割検討・決定 3. 一般質問校正 4. 写真等の担当決定	印刷御者と日程調整	1と2は池田 作成案で検討
2	11/5 10:00～	1. レイアウト決定 2. 総括や委員長報告など 上記以外のすべての原稿 校正 3. 写真キャプションの検 討・決定	左記一般質問等すべての原稿 の入稿	1は池田作成 案で検討
3	11/13 9:00～	1. すべての業者入稿のゲ ラ刷りの校正	左のゲラ校正済みの入稿	

写真・カット・図表担当

ページ	担当
1	表紙
2	
4	
6	
7	
8	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	

編集日程を決める

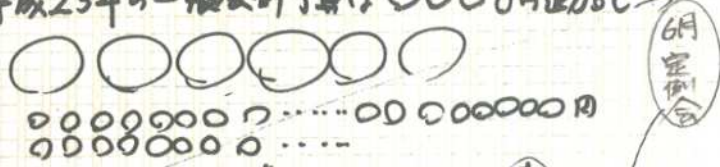
掲載内容の担当、  
提出期限等を決める

全ての写真・カット・  
図表担当を決める

第1回目または2回目に委員長が案を提出する

# レイアウト用紙

えびの市議会だよりレイアウト用紙

平成25年の一般会計予算は〇〇〇〇円追加し  


別紙①

⑤ 5月臨時会コミニクス関係予算を修正可決

③ 国保税 資源創りを引き上げ、平場創りを千円に引き上げ

④ 92  
142  
242AL

⑧ 6月臨時会  
一一般職の給与を削減  
今7月5月来3月

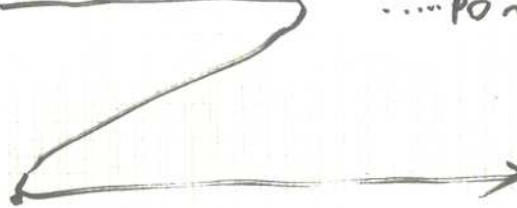
(7) vol.

えびの市議会だよりレイアウト用紙

2013  
第97号  
平成25年7月20日  
編集 / 議会広報委員会  
発行 / えびの市議会

## えびの市議会だより

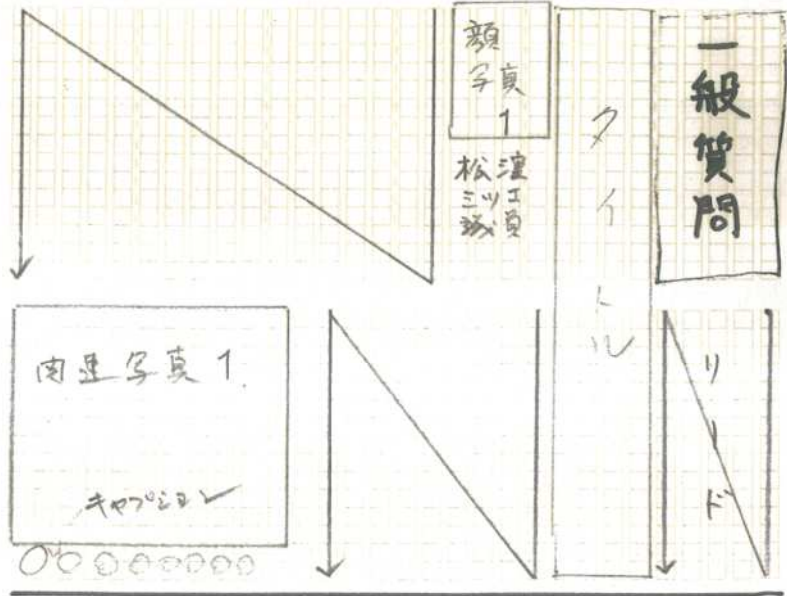
写 - 1

— 号表説明 —  


主な内容  
 ……P〇～P〇

Shimo City Assembly Report (1)

えびの市議会だよりレイアウト用紙



以下 P9 まで 2段 スペース  
 が 基本的に同様のレイアウト  
 ※ 関連写真・図・表・カットは  
 別紙指示 提示済。

えびの市議会だよりレイアウト用紙

1. 議案等	5月臨時会における議案等の審議結果 会期5月10日(18日開)
	2本
1. 議案等	6月定例会における議案等の審議結果 会期6月7日~19日( )
	16本
2. 請願・陳情	
	3本
3. 議員提出議案等	
	委員会提出意見書2本
1. 議案等	6月臨時会における議案等の審議結果 会期6月25日(18日開)
	8本



## 一般質問

15文字×30行(450字)、3項目まで  
締切は、登壇日から1週間後

委員7人で回し読みし、朱書きで修正を  
加える。最後に委員長が確認する。

答弁の意味が大きく違う時は、登壇議員  
に伝え修正をする。

(実施します 検討します など)

それ以外の修正は委員会の権限で行う。

各議員の質問に写真またはイラストを必  
ず載せることとし、委員会で何を載せるか  
協議した後、担当が撮影を行う。

(当局から写真をもらうこともある)

原稿を確認したら、  
自分の氏名欄に  
チェックを入れる

### 農業政策を新年度予算に生かせ



竹中 雪宏  
議員



懸命な経営努力をしている肥育農家

質問 T P P の問題やコメ政策  
が大きく転換されようとする中、  
肥育農家と養豚農家は、依然とし  
て生産資材の高止りや素牛価格の  
高騰等で、さらに経営状況は厳し  
さを増すことが懸念される。従っ

て肥育対策は市貸付牛の増増、養  
豚対策は疾病予防に使用するワク  
チン代の支援は最低でも肝要と思  
うが、そのような考えはないか。

市長 貸付牛の予算枠、頭数と  
もに増す方向で予算編成を考える。

また、養豚対策は中小家畜生産性  
向上対策事業の要綱等の見直しを  
行っており、ワクチン代の助成も対象  
になるように指示を考えている。

質問 最終年度である中山間地  
域活性化推進事業の目標達成は厳  
しいようであるが、今後、どのよ  
うに対処していくのか。

市長 後年度に向け部会の中  
でも、結論を導き出していく。

質問 本市独自の青年就業給付  
金事業に取り組み考えはないか。

市長 支給の対象者が増えるよ  
うに改良を加えた形で提案する。

質問 食味コンクールを活用し  
て、販路拡大まで繋げる考えは。

市長 農家所得に繋がるよう  
J A とも協議を行い提案する。

### 危機管理体制について



上原 康雄  
議員



質問 緊急災害情報や防災に関  
する情報を市民に正確に伝達でき  
るよう、防災無線の戸別受信機等  
を増設し、情報伝達体制の充実を  
図るべきではないか。

市長 防災無線は、難聴地域や  
小中学校などに戸別受信機を配置  
している。全戸配置には膨大な予  
算が必要であ

る。コミュニ  
ティFM局を  
設置し災害時  
の情報提供に  
使用したい。

質問 強い  
寒波や自然災  
害等で上水  
道が断水し、  
水の供給がで

きない事態が想定される。いざと  
いう時のため水源の確保に飯野小  
学校の噴水塔の水が貴重な水源と  
なる。有効に活用するために噴水  
塔の改修が必要と思うが市長の見  
解は。

市長 飯野小学校の噴水塔につ  
いては、災害時に対応ができる貴  
重な水源として、市民の皆さんが  
安全に水を確保できるような蛇口  
であったり、そういった取り付け  
ができないか指示している。

(えびの市議会だより)

(えびの市視察時の説明資料より)

# 委員会報告

15文字 × 60行(450字)程度、写真2点  
 基本的には委員長が書くが、必ずしも  
 本会議の委員長報告どおりではない。

“より市民の皆さんに関わる項目を  
 分かりやすくお知らせすることに  
 重点を置いている”

委員会の中で、何を中心に書くか協議  
 しながら行う。

Q & A方式  
 (説明では長くなるので、説明されたこ  
 ともQ & Aに直す)

## 議案等の 審査

## 総務教育常任委員会報告

6月定例会において総務教育常任  
 委員会で審査した主なものを抜粋し  
 て報告します。

### ①えびの市選挙公報の発行に 関する条例の制定について

Q…条例の内容は。

A…選挙管理委員会が、市議会議  
 員選挙と市長選挙時に選挙公  
 報を発行するもので、候補者  
 の政策等が掲載されます。

### ②一般会計の補正(第3号) 11052

Q…自治振興費・コミュニティ助  
 成事業補助金170万円の内  
 容はどのようなものか。

A…真幸地区運営協議会の備品購  
 入補助金で、ワイヤレスアン  
 プ・プロジェクト・ゲート  
 ボール用具等を購入するもの。



天井修繕を行う飯野中体育館

Q…教育費・中学校費の修繕料  
 116万3千円の使途は。

A…飯野中学校屋内運動場(体育  
 館)の天井修繕料で、天井の  
 落下防止工事を行い、体育授  
 業等の安全を図るものです。

Q…コミュニティバス停留所の看  
 板作製等委託料188万3千  
 円の使途は。

A…西部線(加久藤・真幸)のバ  
 ス停留所看板等を作製するも  
 ので、126箇所分。

Q…学校施設の非構造部材である  
 天井、照明灯、固定式運動用  
 具等の安全点検はどのように  
 なっているか。

A…非構造部材の安全点検は再調  
 査を行い、県や国と対策を協  
 議する予定である。



### ③平成25年度水道事業会計予 算の補正(第2号)について

Q…防衛施設周辺民生安定施設整  
 備事業費1993万5千円の  
 内容は。



上水道大河平配水系整備が実施されるくるそん大橋

A…陸上自衛隊えびの駐屯地を含  
 む上水道大河平配水系を、防  
 衛省の補助事業を活用して整  
 備するもので今年度は実施設  
 計を行うものです。

総務教育常任委員長  
 北園 一正

## 議員自ら作る副産物として…

議会基本条例の中でも、議員の質の向上などいろんな課題があるが、捉え方がばらばらで進む場合がある。議会が終わっても意味を誤解したままだったりすることもある。しかし、この委員会をすることで、誤解したままだった認識がきちんと直ったり、共通理解の場になっている。

事務局任せだったらチェックするだけで疑問にも感じなくて当たり前なのが、「こう思ってたけど、こういう意味だったのか。」「そうなんですよ。」というやり取りを委員会の中で自由にすることによって、それぞれの認識度合いが平準化され、非常に勉強の場になる。

ぜひ皆さんでやることをお勧めします。



## 委員の考察

- 編集割付・分担表、編集日程表、レイアウトを完成させ、作成までの大まかな流れを確立するには、相当な議論と時間を要することが考えられ、わが市でも早急に取り組むべきである。
- 委員会に時間がかかるのには驚いている。相当な覚悟がいるが、なんとかでもやり上げてルールを作り、後につなげたい。
- 「議会だより」を自分達で作る意欲は大いに見習うべきだ。ただ、日向市ではソフトを活用した紙面整理を行っているので、議員がどこまで手を差し伸べられるかが課題である。
- 過去の議会だよりを参考にしたレイアウト用紙も完璧に用意されており、議会だよりにかける意気込みが日向市議会とは大違いである。さらに感じたことは、議員の能力が高いことである。例えば、パソコンに対する知識、文章を書く能力など、今後見習うべきである。今回の研修をもとに、我々もさらに勉強してチームワークを強化し、えびの市に負けないような議会だよりを作りたいと思う。

## 委員の考察

- 日向市でも委員長を初め8名の委員で、市民に分かりやすく、また親しまれる議会報づくりに努めなければならない。
- 議会だよりの作成は、慣れていない分難しい面もあると思うが、とりあえずやってみることだと感じる。今後は、市民に身近な議会と感じてもらえるような「議会だよりの」を作成したい。
- 「議会だよりの」を通じて、より開かれた議会を目指すと同時に、議会の動きを知ってもらう機会を作る必要がある。
- 議員だけで本当に議会だよりのを作成しようとするなら、印刷契約の仕様を変えることがスタート点である。